

埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2025年  
4月  
第21号



## 現場第一主義に基づいた議会質問で県政動かす



### 質問項目

#### ① 地域医療の在り方について

- (1) 順天堂大学附属病院整備計画の中止に伴う対応について
- (2) 埼玉県医師育成奨学金について
- (3) 医師の働き方改革のスタートによる地域医療への影響について
- (4) 提供すべき医療の形を明確に示すことについて
- (5) 寄附講座運営支援事業と長時間労働医療機関への医師派遣支援について

#### ② 偽・誤情報対策について

- (1) オリジネーター・プロフィール(OP)について
- (2) 埼玉版FEMAによる感染症対応訓練での取組について

#### ③ ドクターヘリの安全確保と支援ヘリとの連携について

#### ④ 大人のがん教育の推進について

#### ⑤ 建設業における働き方改革の推進について

- (1) 県の建設工事における取組について
- (2) 市町村支援について

#### ⑥ 視覚障害者に配慮したバリアフリー対策の推進について

#### ⑦ 地元問題

- (1) 県道川越所沢線の今福交差点の渋滞対策について
- (2) 県道川越越生線の整備について
- (3) 川越市内における新河岸川の河川改修について

①(1)④⑥は裏面に掲載

## 質問項目2(1) 偽・誤情報対策について (1) オリジネーター・プロフィールについて

# 「活用可能性を検討」知事前向き答弁

▼3月1日付 埼玉新聞

【質問】偽・誤情報の流通・拡散の抑制の第一歩として期待がかかるのが「オリジネーター・プロフィール」(OP)と呼ばれる技術だ。メディア、広告関連企業などが参画する技術研究組合で実用化に向けた研究開発が進められている。自治体からもOPの実用化に向けた動きが出ており、1月、鳥取県が自治体で初めて実証事業に参加すると発表した。事業では災害情報などが間違いなく県から発信され、改ざんが行われていないことを確認できる仕組みを実証する。まずは実証してみる価値はあるのではないか。本県における偽・誤情報対策について、今後どのような対策を講じていくのか、所見を。

【大野知事】県としても正確な情報を確実に届ける仕組みの構築が急務となっている。OPはこの情報を発信したのは誰かを第三者が認証する技術であり、SNSによるフェイクニュースの拡散を防ぐことが可能となる。デジタル証明書で県ホームページの改ざんを防ぎ、SNSで発信する情報の信頼性はOPで補完するといった活用方法も考えられる。OPは開発途上の技術であり、統一的な規格や運用のルールがなく、実用化にはまだ時間がかかると思われる。まずは現在、先行している実証事業の動向を見ながら、本県における活用の可能性について検討していく。

偽・誤情報対策の実証を



深谷 顕史氏

# 令和7年2月定例会 物価高騰対策で公明の要望反映

1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故により、被害に遭われたすべての方々にお見舞いを申し上げます。また、県民の皆様の多大なる御協力に感謝申し上げます。県は2月15日、中野国土交通大臣に対し、今回の事故対応への技術的支援及び財政的支援とともに、道路陥没事故の未然防止対策を推進するため次期国土強靱化実施中期計画に下水道の強靱化も盛り込み、必要な予算確保を図るよう要望を行ったところです。一日も早い救出及び復旧に向け、全力で取り組んでまいります。

令和7年度予算は、人口減少・超少子高齢社会の到来、激甚化・頻発化する自然災害といった、「歴史的課題への挑戦と未来への躍進」をテーマに編成。一般会計2兆2,308億9,000万円が成立しました。また、昨年12月に公明党議員団が大野知事へ行った「物価高騰への対策に関する要望」が反映され、国の予算を活用し、県民及び事業者への支援や防災・減災及び国土強靱化の推進等を図るための補正予算が編成されました。

## 新年度事業一部紹介

### 医療人材の確保

医師の働き方改革の推進と偏在是正

**新規** 長時間労働医療機関へ医師派遣を行う医療機関に対して補助



**拡充** 地域の医療機関へ指導医等を配置し、地域医療に関する調査研究や人材育成支援をする大学に対して補助



### 警察活動の強化

**拡充** 警察官の増員 **全国最多**

- ・全国476人の増員のうち、**175人**の増員
- ▶ サイバー空間における対処能力強化
- ▶ 匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取締りの強化



## 物価高騰対策の概要 生活者・事業者に対する光熱費等の緊急支援

### LPガスを使用する一般消費者等に対する支援

▶ 一般消費者等約146万世帯  
1世帯当たり上限1,500円



### トラック運送事業者に対する支援

▶ 貨物自動車: 20,000円/台  
▶ 貨物軽自動車: 7,000円/台



### 福祉施設、医療施設、私立学校等に対する支援

▶ 高齢者施設(入所): 21,900円~22,400円/定員1人  
▶ 病院: 27,000円~45,000円/床  
▶ 私立高校: 1,100円~1,260円/生徒1人  
▶ 畜産農家: 10,600円/配合飼料1トン等



### 中小企業等の経営体質の転換を促す支援

▶ 補助対象:  
15年以上使用した空調設備等の高効率設備への更新、蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備等の導入

▶ 補助率: 1/2 補助上限額: 500万円



### 特別高圧電力を使用する中小企業等に対する支援

▶ 工場・工業団地: 1~2月分⇒1.3円/kWh  
3月分⇒0.7円/kWh  
▶ 大型商業施設 1~2月分⇒35円/m<sup>2</sup>  
テナント: 3月分⇒19円/m<sup>2</sup>等



# 困難極める地域医療の課題 追及場面、新聞各紙が掲載



▲約2年にわたり順天新病院計画の是非について深谷質問を報じた各紙(毎日・読売・埼玉新聞)

▲今回の一般質問の内容を2度にわたり報じた毎日新聞埼玉版

## 質問項目1(1) 順天堂大学附属病院整備計画の中止に伴う対応について

質問・答弁要旨

**Q** 医師不足解消のため今後も医師派遣をしてくれる病院誘致を続けるのか。これまでの方針であった大学病院等の医師を育成する機関が県内に必要という観点について現在はどう考えているのか。また整備予定となっていた800床分は計算し直すか何床になり、その分は今後どうするのか伺う。

**A** 人口10万人当たりの埼玉県医師数は依然として全国最下位であり、医師の負担は現在も大きい状況と認識をしているが、大学附属病院の公募を行った平成26年と現在とを比較すると、県内の人口構成や医療提供体制は大きく変化をしている。医師を派遣する病院誘致と、医師を育成する機関の必要性について、改めて県医師会、医療機関、さいたま市など関係者の御意見も伺いながら一から検討していく必要があると考えている。

今回、順天堂の整備計画が中止となったことにより、計算上では547床不足することとなる。令和9年度には必要病床数の見直しが行われる予定だが、それを待たずして、今後は速やかに、地元の医師会や医療機関及びさいたま市に対し、医療ニーズを丁寧に伺い不足分の対応につき検討していく。

## 質問項目4 大人のがん教育の推進について

質問・答弁要旨

**Q** 埼玉県のがん検診受診率は目標の60%に届いておらず、課題があることが明白である。正しい知識を学ぶことが、がん検診受診率の向上に通じると思う。「働く人を、がんから守る」ため、今後、県内企業等に対する周知など、どのように取り組んでいくのか。

**A** 議員御指摘のとおり、学校におけるがん教育の取り組みが進んでいる一方、大人への啓発が課題となっており、企業から従業員に対する啓発は大変有効である。このため、がん啓発・がん検診受診率向上に向けた包括的連携協定を締結し、締結企業では受診率向上に取り組んでいただいている。また、県内事業所を対象とした「がん検診受診促進宣言」へ現在228事業所に登録いただいている。今後は、経済団体に限らず、様々な企業・団体に働きかけ、包括的連携協定企業やがん検診受診促進宣言の登録事業所を更に増やすことにより、大人のがん教育の推進に努めていく。

## 質問項目6 視覚障害者に配慮したバリアフリー対策の推進について

質問・答弁要旨

**Q** 歩車分離式信号交差点には音響式信号機が整備されていることが重要だが、234交差点に対して78交差点にとどまり、音響式信号機の24時間鳴動も8箇所のみである。安全であるはずの歩車分離式信号交差点の恩恵を、視覚障害者も享受することができるよう整備を急ぐべきだ。当事者団体も要望している、歩車分離式交差点への音響式信号機の早期設置と鳴動時間の延長、また、歩車分離式信号機を整備した際の当事者への周知と県警ホームページへの掲載について見解を伺う。

**A** 議員お話しのとおり、音響式信号機が整備されていない歩車分離式交差点では、視覚障害の方が車両の動きを把握できず横断に戸惑いを感じているという意見も承知している。歩車分離式信号機の整備に当たり、視覚障害の方の利用頻度等も踏まえつつ、必要性や優先度を勘案しながら既設の歩車分離式交差点も含めて音響式信号機の整備を検討していく。

音響式信号機の運用時間については、これまでも24時間運用の拡大や運用時間の延長を随時進めている。本年1月末時点で音響式信号機全体の1,044基のうち、5パーセントに当たる52か所において24時間運用を行っている。今後も関係団体等の要望を踏まえつつ、付近住民の御理解を得ながら運用時間の拡大を順次進めていく。

歩車分離式交差点の整備状況については、県警察ホームページによる情報発信のほか、新規整備箇所に関する周知について、関係団体や市町村を通じて、視覚障害の方々に対する情報提供の充実が図られるよう検討していく。



▲2月13日 埼玉県視覚障害者福祉協会他5団体の皆様と県警へ要望

### 深谷けんじプロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 50歳  
神藤幼稚園卒園、川越市立南古谷小・中学校卒業  
東京農業大学第三高等学校卒業  
創価大学文学部社会学科卒業  
2023年4月埼玉県議会議員2期目当選 現2期  
公明党県幹事・企業局長  
公明党川越総支部 総支部長

総務県民生活委員会 委員  
経済・雇用対策特別委員会 副委員長

深谷けんじ  
ホームページ



Youtube  
深谷けんじ  
チャンネル



### 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

#### 埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

#### 自宅事務所

〒350-0015  
川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393